

第1分科会

PC業務拡大に向けた 業務適性把握課題・社内実習の取り組み

- 志村 恵（日総ぴゅあ株式会社）
市川 洋子（日総ぴゅあ株式会社）

発表概要

1. 会社概要
2. 研究の背景と目的
3. 研究の方法
4. 結果
5. 考察
6. 今後の課題

1. 会社概要

日総ぴゅあ株式会社



設立年：2007年

従業員数：211名

(内 障害者数185名)

障害種別：知的161名

精神18名

身体6名

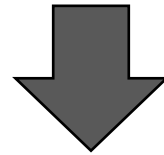
資本金：4000万円



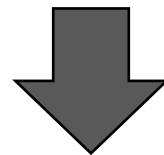
2. 研究の背景と目的

産業構造変化
業務のIT化

従来行っていた
軽作業の減少
(組み立てなど)



IT業務の受注拡大が喫緊の課題となる



社員の業務配置転換を進めるため
アセスメントを実施

2024年度

OCR(Optical
Character Reader)
データを活用した
PC入力課題＋実習



2025年度

新しい課題
(2種類)

業務適性把握・配置転換を行う

3. 研究の方法

概要

- 以下3種類の課題を実施
 - ① OCR(PC)課題
 - ② 項目入力課題
 - ③ 電卓課題
- 課題合格後、5日間の実習
- 課題実施期間
2025年2月～6月

OCR(PC)課題

- ・ 見本の文字を入力
- ・ 全3シート
- ・ 1シート平均15分以内
かつ1シート内のミス
が5個以内で合格

	A	B	C	D	
1	MIX-T1-V2				
2	(必ず1行に収まるように左詰めで記入)				
4		Brandee			
5	First Name				
7		Fouhy			
8	Last Name			Prefecture	
10		〒523-0011			Omihachimanshi
11	Postal Code			City	
13		15番地-32			
14	Block/street/etc				
16		Kibogaoka Housing No.6			
17	Building Name				
19		OitakenOitashi			
20	Full Address 1				
22		Shinkawa Nishi56番地の-69			
<div><div>< ></div><div>PEN-0.5-MIX-T1-V2_0291</div><div>PENCIL-H-MIX-T1-V2_0291</div><div>PENCIL-9B-MIX</div></div>					

- ・ 見本を見ながら表に入力
- ・ 制限時間30分
- ・ 入力数、ミス数をカウント
- ・ 氏名の読み予測、IMEパッド使用
- ・ 目線の動き

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	課題A							
2								
3	伝票確認	伝票No.	合計額	申請日	取扱銀行	申請メニュー名	行数	所属部門C
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								

電卓課題

- 1シート30問
- 制限時間30分
- 計算数とミス数をカウント
- テンキーの動きを想定

①14P

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
23	52	30	39,027	274	3,809	592	374	7,176	1,075
91	34	59	328	28	164	-38	29	2,290	160
73	48	46	2,671	88	755	23	-30	508	365
答え									

開始時間					終了時間				
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
97	6,083	390	60	2,987	871	398	85	877	937
-35	720	253	387	-567	18	864	710	-204	-663
-27	128	423	60	83	805	302	-689	72	314
答え									

開始時間					終了時間				
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
6,391	16,493	28,730	9,399	8,462	4,190	4,726	63,601	89,201	90,479
1,736	4,492	2,799	27,041	2,027	-2,733	87,860	70,104	-30,067	69,106
31,890	2,093	31,027	60,399	2,255	19,370	-61,048	19,305	97,802	-38,702
答え									

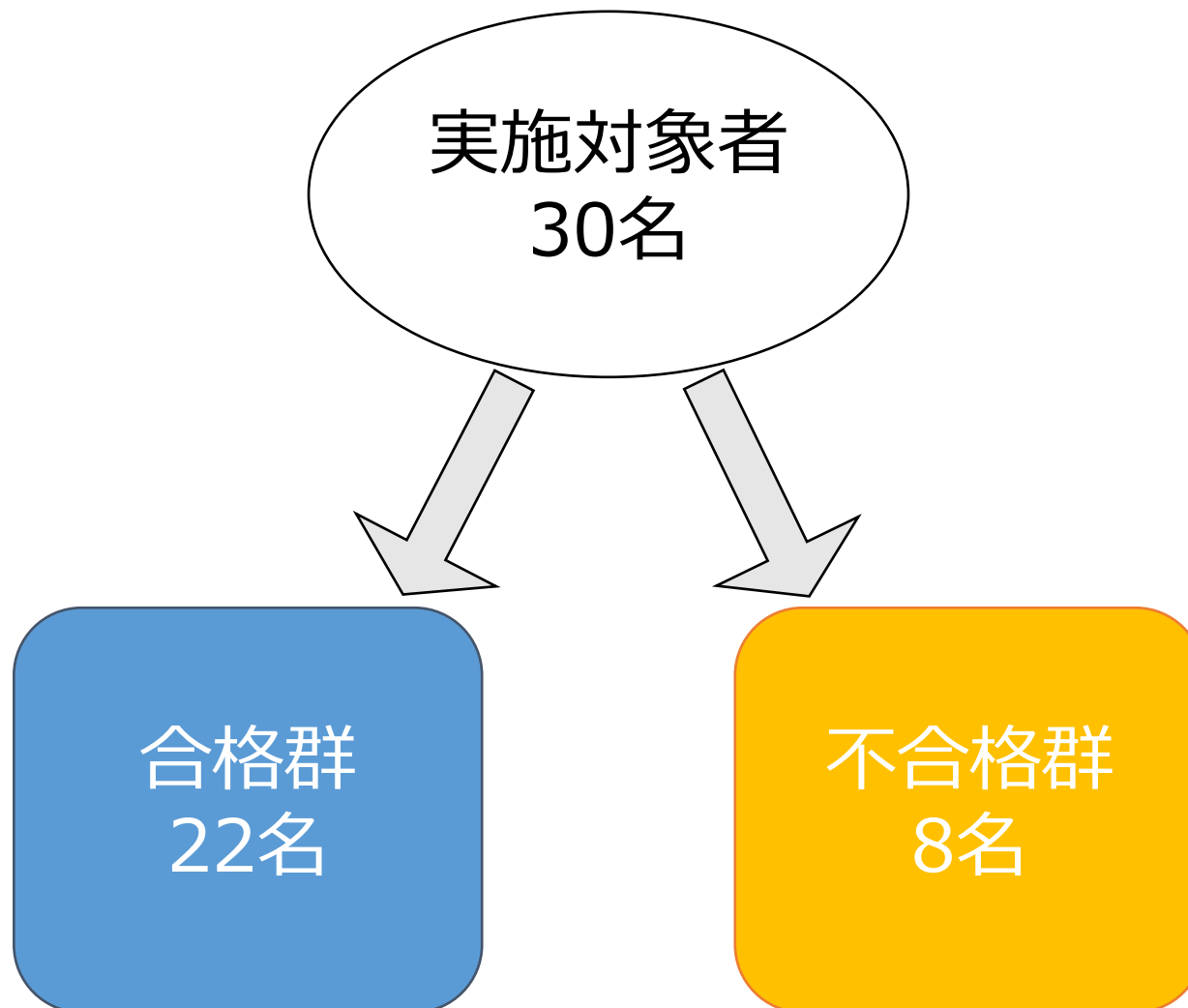
PC実習

- 指定された情報を画面から囲い込む
例：銀行口座番号、支払期日など

トレーニング版（7項目）を実施
→合格後、本番の業務を行う

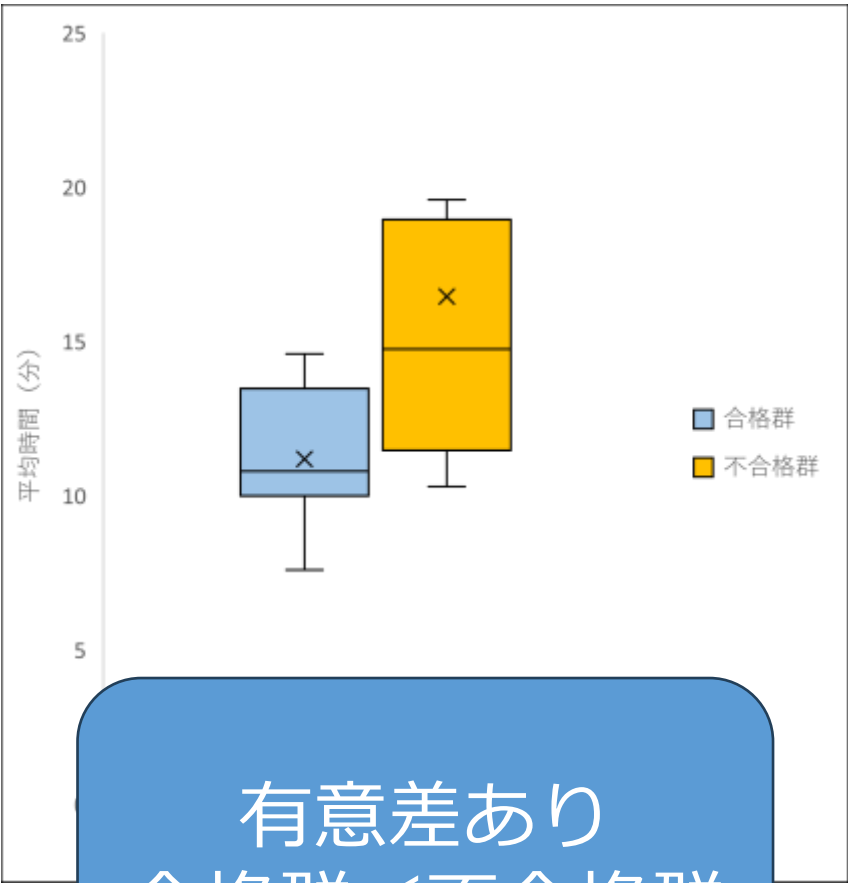
4. 結果

課題による業務適性把握



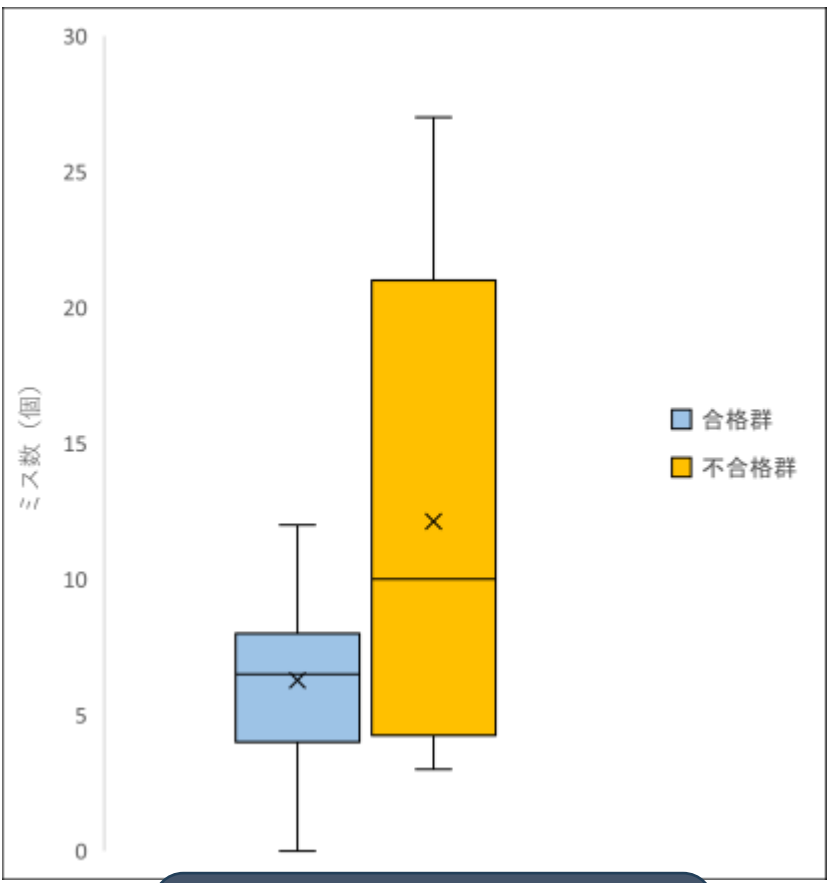
OCR（PC）課題

平均時間



有意差あり
合格群 < 不合格群

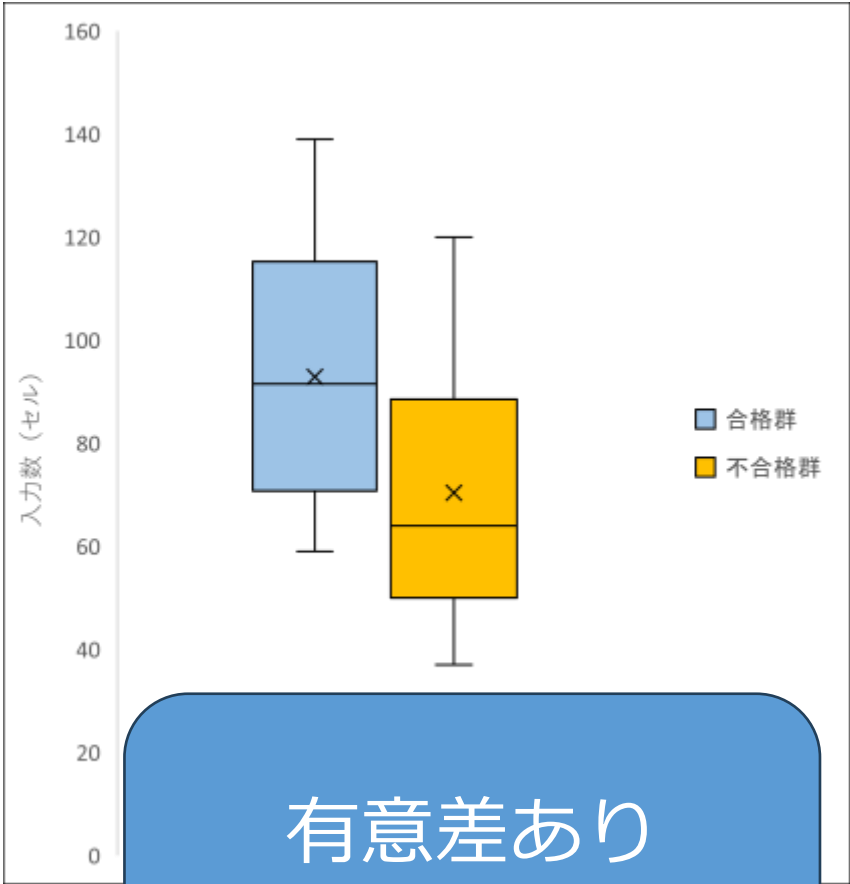
ミス数



有意差なし

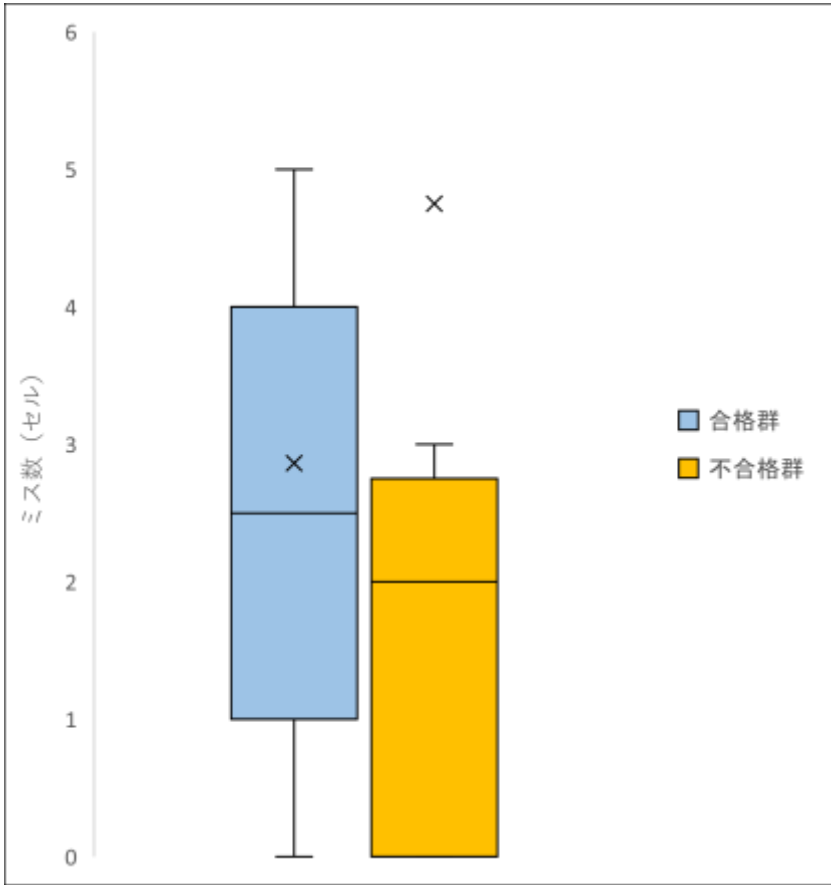
項目入力課題

入力数



有意差あり
合格群 > 不合格群

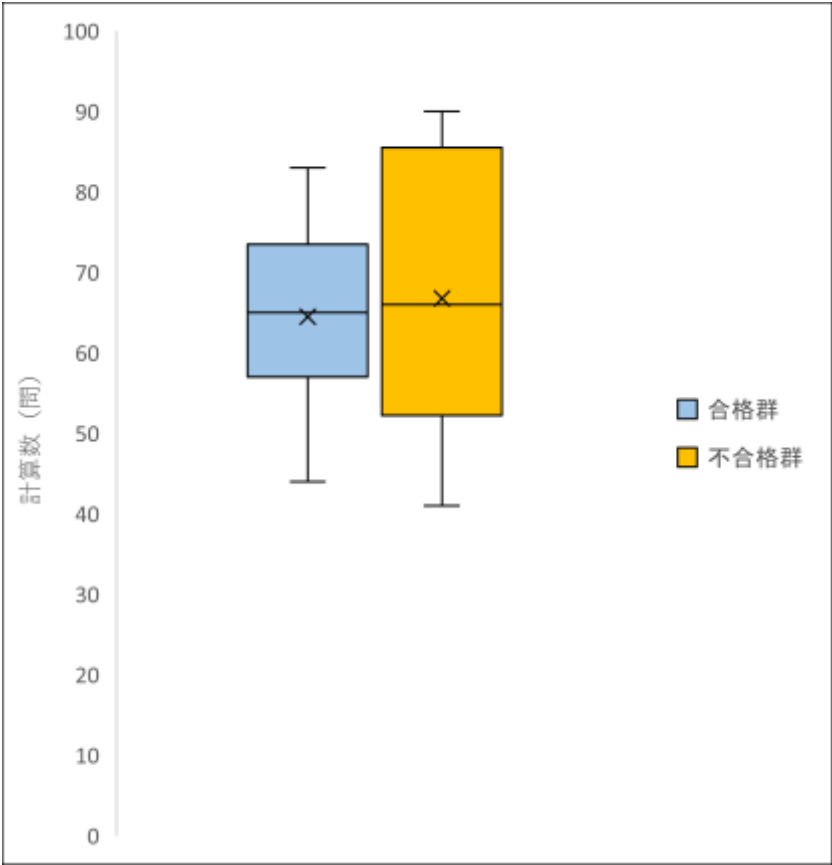
ミス数



有意差なし

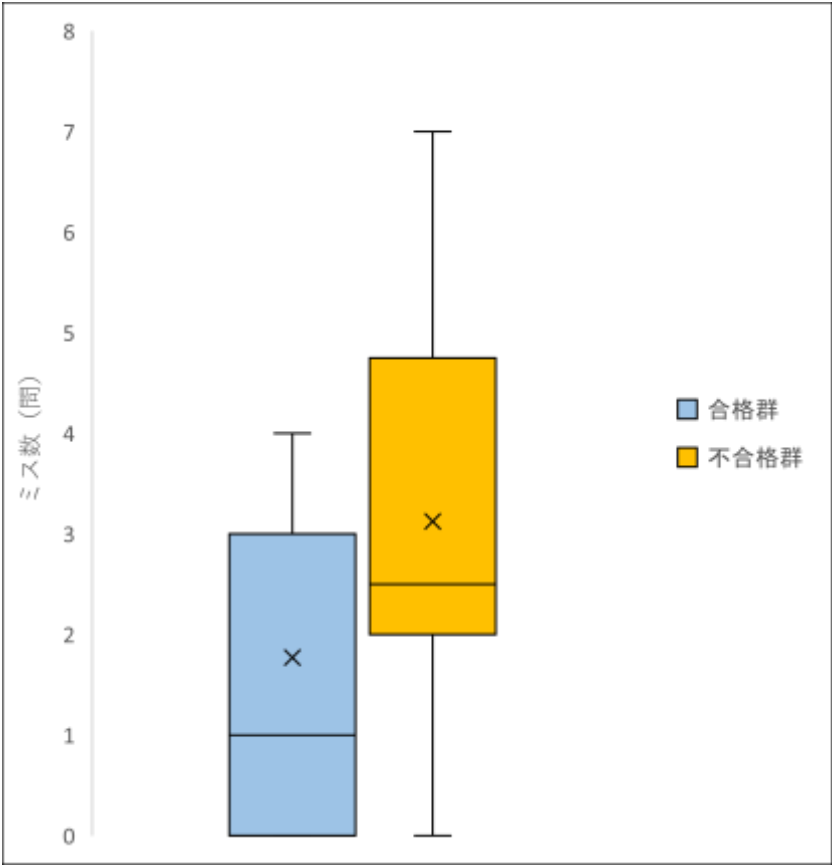
電卓課題

計算数

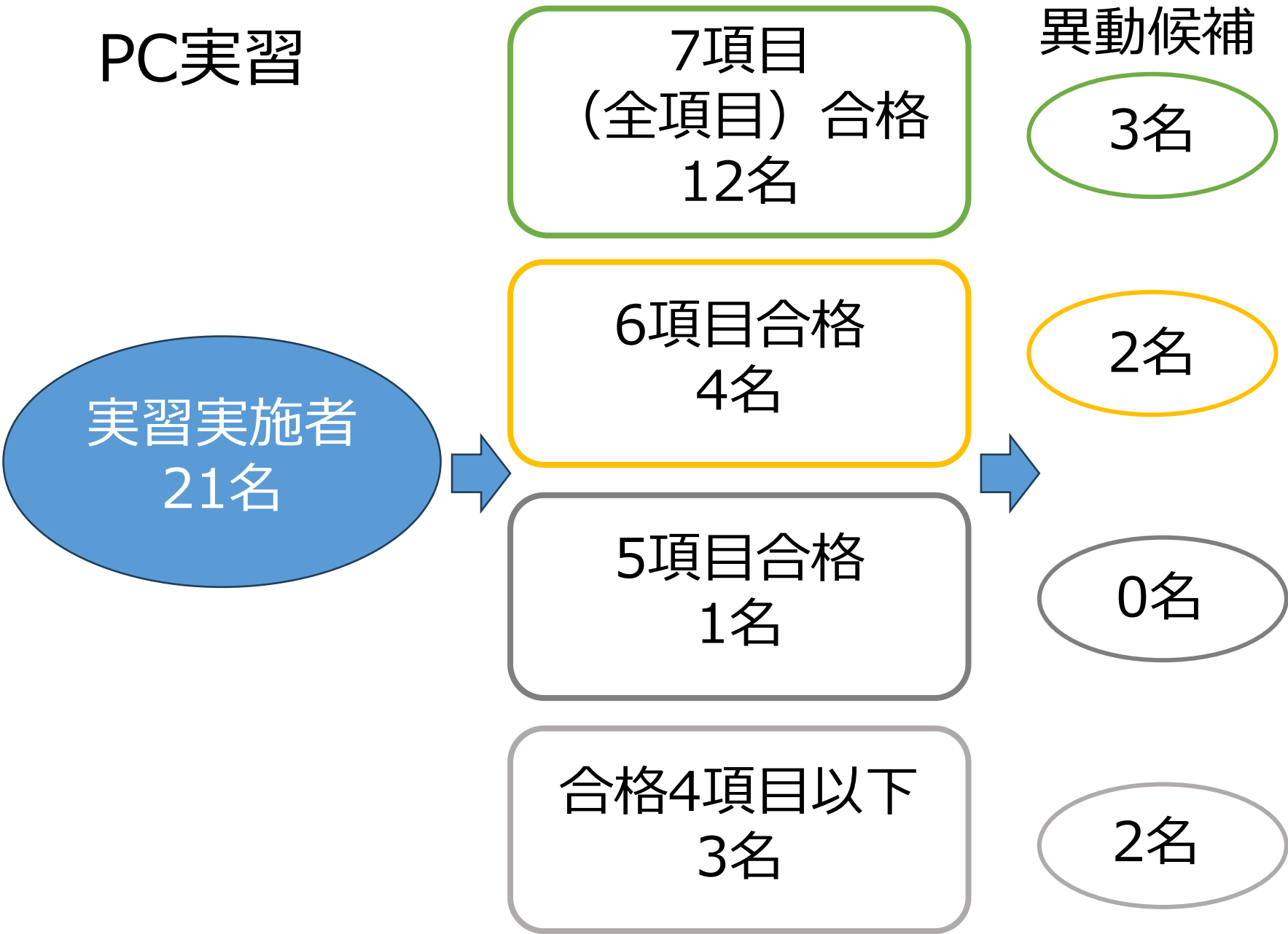


有意差なし

ミス数



有意差なし



PC実習中の行動観察

異動候補 対象者	<ul style="list-style-type: none">・ 自分の言葉に置き換えてメモが取れる・ 不明点を積極的に質問する・ マニュアルを参照して不明点を解決できる・ 苦手な部分について自ら工夫し改善できる <p>(見落とし→指差し確認するなど)</p>
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 自らメモを取らない <p>(メモを取る習慣がない、どこをメモしたらよいかわからない)</p> <ul style="list-style-type: none">・ メモがマニュアルの丸写しになる <p>(応用が効かない)</p> <ul style="list-style-type: none">・ ケアレスミスや見落としが多い・ 疲労から集中力が低下しやすい

5. 考察

- 課題を通して、PCによる課題遂行速度・情報処理速度を把握できた
 - ＊ 軽作業でのスピード≠PC操作スピード
- 不合格群は、課題入力数や計算数が多くても（課題遂行速度が速くても）ミス数が多い傾向がある

画面・紙面上（平面）の
情報処理の正確さもPC業務に必要

- 実際の業務では、以下の能力も必要

- ✓ 様々な情報を取捨選択する

- ✓ 言葉の読み取り

- (指示・フィードバック)

- ✓ フィードバックを受け入れる

- ✓ ミスをしてもしもトライアンドエラーを繰り返し、改善する

- ✓ 眼精疲労・脳疲労への対処



IQ70
が下限

- * 異動につながった人は、ここをクリアしていた

- * タイピングスキルよりも言語理解力が必要

6. 今後の課題

- 本研究では知的障害社員がメイン
 - DX化やAIの発展により、単純入力業務は減少していくと言われている
 - 障害者社員がどのような業務を担っていくか？
- 障害者のキャリアチェンジをどのように支援していくか？
 - * 主体性 * 能力や特性のマッチング